

料金後納郵便
ゆうメール

ゆうメール



NPO 法人マザーズサポーター協会では、納得のいく「今」を生きるために、お役に立つ情報を発信しています。

<私の子育て事情>

私には現在22歳の息子がおります。「妊娠しにくいかもしれません」と言われた私が、当時は高齢出産の37歳で産んだ一人っ子です。可愛くて、可愛くて愛情をかけて育児に励む日々を送りました。

しかし、そんな中、子どもに対する気持ちとは裏腹に価値観の違う夫に対しては、マイナスな気持ちが積み重なっていく毎日となりました。例えば、今では考えられないかも知れませんが、「女は男に従うべきもの。明治生まれの女性のような忍耐強い女になれ！」と口癖のように言っていました。そして、夫と同性の息子に対して「夫のような考えになってほしくない」という思いが募っていきました。

今から思えば、小学校に入学するまでの私は息子にとって、かなり優しい母親であったと思います。「これではいけない！」そんな思いがよぎり、小学生になったら夫のような考え方にならぬよう、厳しく教育しようと考えていました。自分のことは自分で出来る子どもに絶対に育てなければ……。甘やかしてしまうと自立や自活の道は遠くなるのではないかと……。不安がよぎりました。

夫の母は、太陽のように優しく、夫に対して溺愛に近い関わりをしており、夫の“他者への依存、わがまま”は、そのために育ったように感じたのです。それは時代もあったかもしれませんが、私の価値観とはかけ離れていたのです。

息子のためにと、私は自分の決めたことが正しいと信じて突き進みました。「お箸の持ち方がおかしい」、「食事は大事だから綺麗に食べなさい」等、エンドレスでしつけの言葉をかけ、彼の行動のひとつひとつに完璧を求め、楽しいはずの食事の時間を私は台無しにしたのです。また、挨拶の時の声の出し方や視線、姿勢まで、気になって仕方がなかったのです。自分の出来ることは自分でするように、

どこに出しても恥ずかしくないように、自立、自活に向かって私は必死でした。「相手の気持ちを考えなさい」とも、いつも言っていました。息子にしてみたら驚いたことでしょう。優しかった母親が豹変したわけですから。

始めは素直に聞いていた息子も成長と共に当然、反発しました。私には忘れられない息子からの一言があります。「うざい！また、マナーの指導やろ！仕事でやってること言うなよ！」です。私はその頃からマナーを教える仕事もしていましたので、何を言ってもそんな言葉が返って来る日々でした。

さらに成長すると、息子は話すことを拒絶し、沈黙するようになりました。そんなある日、息子が私に手紙をくれました。内容は「自分が悔しい。いつも同じことを言われてキレル自分がいる。言われないようにこれからは頑張るから！」と書いてありました。その手紙を読んで、私は「良かった！私の思いが通じた」と思いました。いつかは改善してくれると期待を持ったのです。

しかし、実は、こんな日々は息子を追いつめていたのです。今、考えると私は自立や自活に程遠い接し方をしていました。息子は私の期待を一身に背負って、期待通りのことをしなくては…とと思っていたことでしょう。

手紙を渡されて、思いが通じた！とはとんでもない。彼を追いつめていた証以外の何ものでもありません。

思い返せば、高齢出産で、生まれてきてくれたこと自体に感謝していたあの頃。

元気で、楽しく、健やかに成長してほしいという心の底にある大切な願いとは裏腹に、自分のやっていることが違っていたと自立型支援方法(NO.6)を学んで改めて気づいたのです。

〒654-0067

神戸市須磨区離宮西町 1-2-20-104

NPO 法人マザーズサポーター協会

その後、私はシングルアゲインとなりました。

現在、息子は医学部目指して浪人中です。息子が選んだハードルの高い道を私は応援しています。合格してほしいですが、例え違う道を選んでも、私は息子の一番の応援者として接することが出来る自信が今はあります。

相談されたら応えます。私の意見を聞いても良いと言ってくれたら伝えます。その意見を採用しなくても息子の選択なので、それを温かく見守り、落ち込みません。

息子は大人ですが、「元気で楽しく健やかに」の気持ちは変わっていません。

そのことを決して忘れることなく、一緒に未来に向けて寄り添える存在でありたいと思っていますし願っています。

また、元夫に対してですが、今の正直な気持ちは、まだ、わだかまりが残っていますが、自立型支援方法を学んで、彼には彼の事情があったのかもしれない(No1)と思えるようになり、気持ちも少し楽になりました。

そして、いつかは、彼のことが少しでも受容できればと感じています。

文責： 船木孝子

『自立』を促すための 《自立型支援方法》

1. 私は「人はいつも最善を選択している」という前提で人と関り続ける。
2. 私は自分の思い込みを一旦はずし、そのままの相手をしっかり受け止める。
3. 私は相手が尊重されていると思う聴き方をする。
4. 私は相手の中の答えを、効果的な質問で引き出す。
5. 私は評価的な表現でない言葉で相手を承認、認知する。
6. 私はコミュニケーションの意図について、いつも意識を向ける。
7. 私は自分の成功体験、情報を押し付けにならないように提案する。
8. 私は「他人の能力、可能性は決められない」ことを知っている。
9. 私は過去と他人は変えられない、人はみな違う（人は見たいようにみるし聞きたいように聞く）ことを知っている。
10. 私は人間関係を破壊する7つの習慣を使わないように意識する。
①批判する ②責める ③がみがみ言う ④文句、苦情を言う⑤罰する
⑥脅す ⑦コントロールするために褒美でつる
11. 私は信頼関係を構築するために、いつも安心感のある安全な場を作り出す。
12. 私は相手を常に勇気付け、責任を取る権利を奪わない。
13. 私は失敗したと感じることも、常に学びの種に変える。
14. 私は、いつもどのような時も、自分が世の中に必要な存在であることを知っています。

「NPO法人マザーズサポーター協会 ニュースレター 第35号」をお読みいただきありがとうございました。過去に情報提供のご希望があったみなさまに、送付させていただいています。

今後も更に内容を充実させ、育てる側に役に立つ「自立型支援方法」の情報やイベントのご案内などを発信させていただきます。 NPO 法人マザーズサポーター協会 <http://m-supporter.com> fax:078-731-0615

★ 協会のイベント紹介 ★

会場：あすてっぴ KOBE

「よりよい老後を送るために
社会地域とつながるコツ」

10/20（日）10：00～12：00

「叱り方検定」

10/26（土）9：30～11：30

子育てにも役に立つ“叱り方”をお伝えします。

